みはら整形外科
MIHARA CLINIC
整形外科・リウマチ科
院長 三原 隆　日本整形外科学会 整形外科専門医・日本整形外科学会認定リウマチ医

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～19:00	●	●	●	9:00～13:00	●	9:00～13:00

※急なケガは夜間でもご連絡ください。※往診もしております。
☎554-7200　南区長住4-1-4 Ⓟ5台有り

長住医院
■内科
■糖尿病内科
■呼吸器科
■胃腸科
糖尿病専門医
院長 漢 幸太郎

【診察時間】
平　日　9:00～18:00
(昼休み　12:30～14:00)
木　曜　9:00～12:00
土　曜　9:00～14:00
日祝日　休診

☎551-3410　南区長住2-15-15（駐車場 8台あり）

老害特集

頭痛・めまい・手足のシビレなどの健康相談
物忘れの相談・認知症の診断、治療を行っています
松田脳神経外科クリニック
■診療科目
脳神経外科　医師／松田年浩
皮　膚　科　医師／松田奈津子

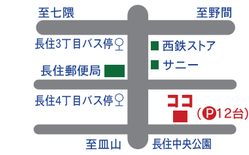
診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9時～12時30分	○	○	○	○	○	○
午後 2時～6時	○	★○	○	休診	○	休診

※日・祝日は休診　★皮膚科：火曜日の午後は休診

詳しくはホームページをご覧ください
松田脳神経外科クリニック　検索

☎511-0500　南区寺塚1丁目17-10　大池通り長住2丁目バス停前

野上耳鼻咽喉科医院
診察時間　午前：9時～12時半　午後：14時～18時
午前・午後診療：月・火・水曜日、第1・2・4・5金曜日　第3木曜日
午前のみ診療：第2・4・5木曜、毎週土曜日
休　診：第1木曜日、第3金曜日、日・祝日
※臨時休診、時間変更の場合があります。
ホームページの「お知らせ」を確認してご来院ください。
●めまい・耳鳴り●花粉症●舌下免疫療法
●嚥下障害・のどのむせ・誤嚥
＊ご相談ください＊
院長 野上兼一郎　医学博士　耳鼻咽喉科専門医



南区長住5-11-25
☎511-6350

ま＝まいんず

2人で仕事するがゆえ

ま　「老害」といっても松山さん親子にとっては、一緒に仕事をしているが故の問題ということになりますが、もしかすると、大小関わらず、他の会社でも似たような問題があるかもしれませんね。
松山(息子)　そうですね、2人きりで仕事していると、考え方も違うのでどうしてもぶつかることもありますね。
松山(父)　自分は、何でもまずはやってみないと分からないと思ってるから。
ま　なるほど、若い世代の息子からすると、なるべく効率的に進めたいと？
松山(息子)　そういうこともありますね。たぶん、間に別の人が居てくれたらいいんですけど、直なのでどうしてもぶつかっちゃうんですよ。
松山(父)　自分のお客さんをしっかり引き継ぐまではと思ってるけど、最近お客さんの息子さんが引き継いで社長になったりして、そうなってきたらこちらも代替わりする場合も出てきましたけどね。昔から言ってるんですが、いつ誰が自身のお客さんになるかもしれないのだから、若い時からどんな方ともちゃんとお付き合いしておかなければならないと思うんです。
松山(息子)　それは分かってるんですが、事あるごとに「自分が立ち上げた会社」と言われるともう何も反論できない…。
ま　確かに。それは今さら言ってほしくないよね。
松山(父)　だから「毎日は来なくていい」と言われてるので最近は出勤日を減らして、妻との時間も作るために土日は休んでるんですよ。でも出勤した時、息子とお客さんのやりとりが聞こえてくるから、お客さんが帰ったあとつい口出ししてしまうんですよね(笑)。
ま・中塚　それは息子としてはイヤよねぇ！

世代交代のゆくえ

ま　息子としては、いずれ100%バトンタッチしてもらって、他のことに邁進してほしいと？
松山(息子)　それが理想ですね。
ま　では父としては、あとはここを卒業するだけですね？
松山(父)　いや、オレは辞めないよ！だって出てこないと人に会えないし、家に閉じこもっていたくない。
ま・中塚　結論として、卒業はムリっぽいよ(笑)。
松山(息子)　老いていくのを待つだけですかね…？(笑)
中塚　そのうち「腰が痛いだのどこが痛い」って出てこれなくなるのを待つしかない(笑)
松山(息子)　…サラリーマンの方はどうされているんでしょう。
ま・中塚　退職後？　そりゃあ奥さんにどこかに出かけてほしいって思われてるらしいよ(笑)

「老人」「老害」とは言われたくない

中塚　そもそも「老害」って悪いんかね？ルーティンのように出かけることもいいことだと思うけど。それをひとくくりに「老害」扱いされたくない。
松山(父)　そうそう、自分ではそんなつもりじゃないから、受け取る側の捉え方じゃない？
ま　世間ではその感覚が「老害」といわれています(笑)

自分の居場所づくり

中塚　でも息子さんが仕事をしやすいように考えるなら、例えば松山さんも他にも居場所を作ったら？　地域の「いこいの家」にはクーラーやテレビもあるんだし、そこに集まれば？って思うんだけど。
松山(父)　今から公民館や「いこいの家」には通いたくない…。だってもうすぐ70代でも老人とは自分では思ってないし。決められたサークルとかじゃなくて自分がしたいことをしたい時にしたい。

仕事の次は何をする？

松山(息子)　でも父は趣味がないんですよ…出無精だし…。
松山(父)　趣味がないわけじゃないんだけど、続かない…(笑)。　映画が好きで以前はよく映画館に出かけてたんだけど、最近はトイレが近くなって2回は行くから、だんだんいやになっちゃって(笑)。
バイクももう乗らないし、チャリはキツいし。自宅でちょこっと野菜を育てたりはしてるけどそんなに手間はかからないし。そしてまたギターを習い始めて購入までしたけど、仕事が忙しくて2カ月ほど休んでるし(笑)。
ま　そこらへんはひじょ～によく分かります(笑)。
松山(父)　年とともに何でもめんどくさくなってしまって。それに周りの友人知人がどんどん仕事を辞めて居なくなっちゃうし、家には居たくないし。結局みんなそうやってやることや居場所がないんですよ。

昔話は楽しいもの

松山(父)　ここ(職場)に友人が時々来てくれるから、余計に出無精になってるんだけどね(笑)。いずれ息子も今の仕事を辞める時がきたら、ここを地域の人が気軽に通えるカフェみたいになったらいいなとも思う。
中塚　その頃には私たち死んでるじゃない！(笑)
ま　では現在、ここで友人たちと昔話を楽しんでるわけですね。そりゃ同じ職場の息子からしたら、また同じ話してる…ってため息ついてるかもしれませんよ(笑)。
松山(父)　確かに(笑)。でもそもそもみんなが来るのは「生存確認会」と称して、確認しに来てるんだから(笑)。そのあと近所にごはんを食べに行くというのも楽しみ。
ま　それは分かりますけどね。私も同級生と集まると、仕事の話をしてもしょうがないし、結局子どもの頃の話で笑い合えますからね。
それで、どんな昔話してるんですか？
松山(父)　ここではとても言えない…(笑)。まぁ今と違って昔はすごかったもん。自分たちが通った高校は男子校で、60人の15クラスとかだから全校集会はグラウンドに3000人くらいいたから。それをまとめる先生たちも恐かったし。部活の先輩からはいじめられるし。
山崎　私は部活で柔道を習っていた時、いじめられているとは思わなかったですね。鍛えてもらってると。
ま　もう山崎さんはアスリートとしての根性が座ってたんでしょうね(笑)
松山(父)　そういえば、その学校で初めてケンカをふっかけたのが山崎だった。でかい体だし、柔道も強くて、今思えばなんてことしたんだろ(笑)。でも別のヤツが止めに入ってくれて。その3人はそれからずっと友だちだけどね。

本日の茶菓子

多めのほうじ茶の葉に少なめの湯を入れて5、6分待って茶葉を取り除く。
水を加えて冷蔵庫で冷やす。
好みのわらびもちに、好みの塩をパラリ(3、4人前：耳かき1杯程度)。
前日から馴染ませておくのがおすすめ。
塩味が甘さを引き立ててくれる。

Answer? 各町に居場所を

ま　松山さんとこのような恵まれた場所なんてなかなかないでしょうけど、願わくば、こういった民間で運営できる居場所があちこちにできるといいですね。そうすれば、老人同士で昔話で盛り上がったり、自慢話を何回しても若い世代に迷惑はかけないし、何をしないといけないという縛りがないから、おしゃべりでも、ギター弾くでも、将棋をしてもいいわけで、ふらりと立ち寄れる自由さがいいですよね。
そこに行けば知った顔がある、というコミュニティがだんだんできていくだろうし、そこで安否確認ができます。でもそれも、自身がそこへ出向くという動きが必要ですね。また、ご近所さんと付き合うことで、そういった場所に誘い合うことも出てくるだろうし。

これって「老害」？　ホントに「害」？

OLD FOGEY

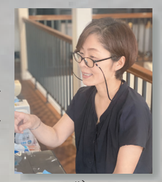
［老害］　50代60代～　社会の変化に適応できず、頑固な態度や古い価値観に固執することで組織や社会に悪影響を及ぼすこと。　現在では30代40代の「ソフト老害」という新ワードも

山崎 豊(60代)
高校時代からの松山さんの友人

×

松山 英雄(60代)
長尾中学校出身
オーダー紳士服店「ベルグラヴィア」2代目

×


坂田 維(50代)
長尾中学校出身
「ミニコミ まいんず」編集長

×

松山 竜太(40代)
長尾中学校出身
オーダー紳士服店「ベルグラヴィア」3代目社長

×

中塚 恭子(70代)
地元出身
西長住校区社会福祉協議会会長

40～70代の井戸端会議開始！　場所協力：オーダー紳士服「ベルグラヴィア＆サンズ」(城南区樋井川3-17-10)

老害チェック　□昔話・自慢話　□話が長い　□同じ話を何回もする　□周りの気遣いに気づかない　□すぐ怒る　□陰口が多い　□以前に比べてわがまま　□若者に批判的　□ITに否定的　□飲みになると態度が豹変　□店員に上から目線

親も子も小言は…

ま　山崎さんの息子さんも柔道をしていらっしゃるんですよね？
山崎　小さい頃からさせていたんだけど一旦やめて、中学生の時に「また始めたい」と言うので今度は簡単にやめられんぞと釘を差しておきました。その頃周りには私の柔道の同級生や後輩たちがいましたから、よく鍛えてもらったと思いますよ。
松山(父)　もうがんじがらめでやめられないよ…(笑)。　でもそんな息子に最近は、体のことを心配されて食べる物まで注意されてるんだって(笑)。
ま　そうですか！どうですか？息子さんに小言を言われて。
山崎　うっとおしいです(笑)。
ま　先輩後輩も、親子もみんな、分かってることを言われるとうっとおしいものですね(笑)。
中塚　そうそう、この間もね、まいんずさんと話てたのよね。　私が結婚してる娘にしょっちゅう、たいした用でもないのにラインを送ってるから、「それってもしかすると、ウザがられてるかもしれませんよ」て。
ま　お孫さんを預かることもあるそうだから、娘さんとしてはむげにできないし…と思ってるかもしれないってね。あ、でも分かりませんよ。「そんなことない！」て私が怒られるかもしれないし(笑)。でも親からしたら、子どもがいくつになろうと子は「子」だから気にかかるんですよね？
中塚　死ぬまで親子だもんね(笑)。

小さなイベントから

ま　話は変わりますけど、この間の週末、お店の前で古着とかコーヒーとか出店してイベントしてましたね？
中塚　そうそう、時々遠目に見てたんだけど。
松山(息子)　そうなんです。地域貢献の意味合いもあって、年に数回、出店料はいただかずに開催してるんですよ。
松山(父)　以前、商店街の会長になった時、マルシェをミスターマックスさんの所でさせてもらったけど、コロナもあって立ち消えになってしまったんだけど。開催するのはいろいろ大変ですけど、またできるといいですよね。

若い世代の未来

松山(息子)　今、商店街で若いチームをつくって、何か始めようと考えているところなんです。
中　若い人たちが活性化せんといかんね！
松山(父)　そのためにも、若い人でも気軽にテナントに入れるようにいろいろ見直さないといけないと思う。そうしないと、どこの商店街もそうだと思うけど高齢化が進んでいて、いずれ廃れてしまうと思う。
ま　イベントも継続させるために負担がかからないシステムと、若返りは重大な課題ですね。

ケンカ

松山(息子)　実はその、うちのイベントの時に親子でケンカしたばっかりなんですよ。
松山(父)　いや、「興味ないっちゃろ？」て言うからカチンときて。
松山(息子)　最近は土日は父は休みだし、イベントの概要はすでに話しておいたし、SNSにも出店内容も上げてるし、何も聞いてこないからそのままにしておいたんですけど、後から「なんで教えてくれんと？」て言うから、本業のことじゃないし、興味ないのかなと思って言ったのに怒り出すし。そして「オレはここの主だ！」とか言い出すから。
松山(父)　そんな風には言ってない！自分は本当はイベントに出ていきたいけど、がまんして押し黙ってたんだけど、一応詳細を教えておいてくれてもいいのに、そんな風に言われたから。
ま・中塚　そんなことぐらいでケンカせんでもねぇ？他人んちのことは聞いててあかしいもんですね(笑)。

昔この界隈は

松山(父)　昔ミスターマックスさんのところが野原だった頃、この通り沿いはウチと斜め向かいの元「渡辺酒店」さんとかしか居なくて、向かい側には闘犬場があったから家の2階からよく見てた。そして夜はバイクで前を走ってたら渡辺さんに「こら～！松山さんちの子かぁ！」て怒られてた(笑)。学校も昔は、親が先生に「何かあったらよく叱ってやってください」て言ってたけど、今は違うみたいやもんね…
中塚　私は子どもの頃、渡辺さんにはかわいがってもらったけどね(笑)。当時はバスも何もなかったから、前原の祖母の家に行くのに小笹の駅まで歩いて行ってたなぁ。
ま　50代より上の世代の子どもの頃とは、全く違う世の中になりましたね。

Answer? わがまちの未来

ま　でもいつかもし、みんなが集えるカフェがあったなら、若い人たちもそこに行って高齢の大先輩たちに相談したり、知識を拝借したり、たまの自慢話くらいは聞けるかな(笑)。そしてもしおばぁちゃんたちがいたならば、若いママがちょっと子どもを見てもらって、その間に商店街で買い物をしたり、美容室に行ったり。　理想論ですかね？いや、もしかしたら大昔はそんなことが日常だったのかもしれませんね。

FUNDY

若い世代はどう思ってる？

黙ってやり過ごす？　毎度ケンカする？　居場所を考える？
また、若者も若さゆえ高齢者蔑視などで迷惑をかける「若害」にならないためにも
皆が互いの特性を知った上で、マナーが必須のよう

昨年放映された連続ドラマ
「団地のふたり」
現在NHKオンデマンドにて配信

主人公役の小泉今日子、小林聡美は55歳で実家の団地住まい。近所には子どもの頃から知る70代や80代のおばちゃん、おじちゃんたち。引っ越してきた今どきの若いママは「うるさいっスよここの住人！」と吠える。でもそんなママが嫌っているおじいさんを助けたり、みんなに助けられたり。　気が付けば団地という密集住宅だからこそのコミュニティに守られ、楽しんでいる。めんどくさいと思いがちのご近所付き合いも、近づいてみると意外といいもんだ♪と思わせてくれる。

おすすめ Story
「老害の人」
著 内館牧子　講談社文庫

以前も紹介した「老害の人」には、今回の井戸端会議の話のように、民間で老人が集れる場所を、老人たち自身がつくり出し運営。
それまでは「老害」だと言っていりいりしていた周りも、除々にそんな高齢者たちとの向き合い方や、自身の心の持ちようを見直しはじめる。ちょっと距離を置き、やるべきことがあることで、皆が健やかに過ごせるように。